

アカウミガメの採卵保護を行いました

高知市立春野西小学校

高知市春野町仁ノ 令和元年7月5日（金）

高知市立春野西小学校の4年生が、ウミガメ保護活動をしている「春野の自然を守る会」の熊沢さん指導の下、アカウミガメ(以下、ウミガメ)の採卵保護を行いました。



▼砂浜に残っている足跡を、全員で観察しながら歩きました。



▼足跡を見たあと、小学校で約1年間飼育をした2匹のウミガメを放流します。波で砂浜に戻されるウミガメに「がんばれー!」「次の波でいけるで!」と大きな声で応援し、2匹のウミガメが海へ帰るまで全員で見守りました。



▼2匹を見送ったあと、4年生全員で海岸の清掃をしてくれました。
短い時間でしたが、たくさんのゴミが集まりました。
きれいになった海岸に、またウミガメが産卵に来てくれるといいですね。



▼いよいよ採卵開始です。熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。卵が見えると大きな歓声が上がりました。



▼今回は35個の卵を採卵しました。
保護した卵は、小学校のふ化場に移設します。



▼最後に熊沢さんや高知大学の学生さんたちにお礼をして、ウミガメの採卵保護は無事終了しました。



▼4年生の皆さんは、これから約2ヶ月間、ふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、子ガメの誕生を楽しみにお世話を頑張ってください。